

＼もい吉と見る／

令和3年度決算の分析 (他団体比較)

守口市



決算の比較って何をするの？

決算とは、市の4月1日から3月31日までの一年間（一会計年度）の全ての収入（歳入）と支出（歳出）がどうなっているかを示すために作成するものを指します。

一般会計等の決算の住民1人当たり※1の金額や、財政に関する指標を、守口市と人口※2、産業構造※3が似ている地方公共団体（類似団体）や守口市の近隣に位置する地方公共団体（近隣市）と比較・分析します。

※1 令和4年1月1日現在の住民基本台帳人口 142,655人

※2 15万人以上、15万人未満～10万人、10万人未満～5万人、5万人未満の4区分

※3 第二次産業及び第三次産業就業者の割合をもとに4区分

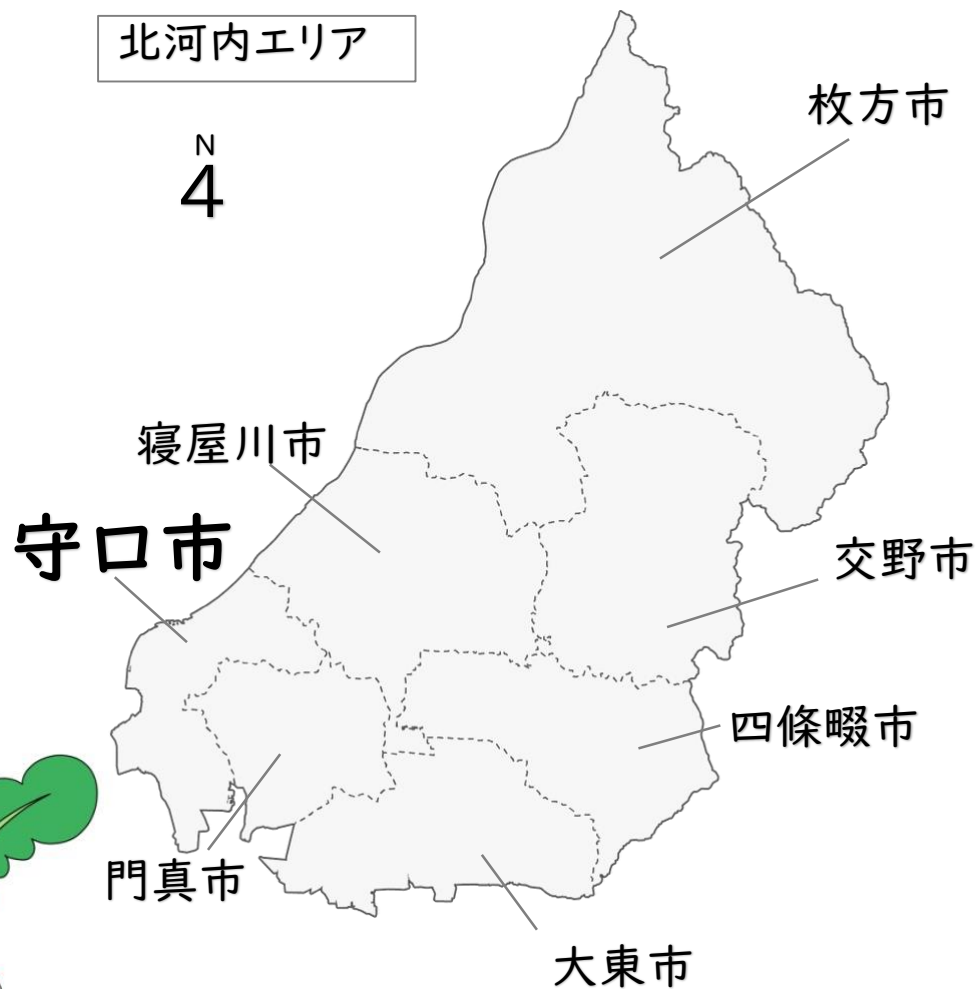
守口市シンボルキャラクターの
もり吉が解説するよ。



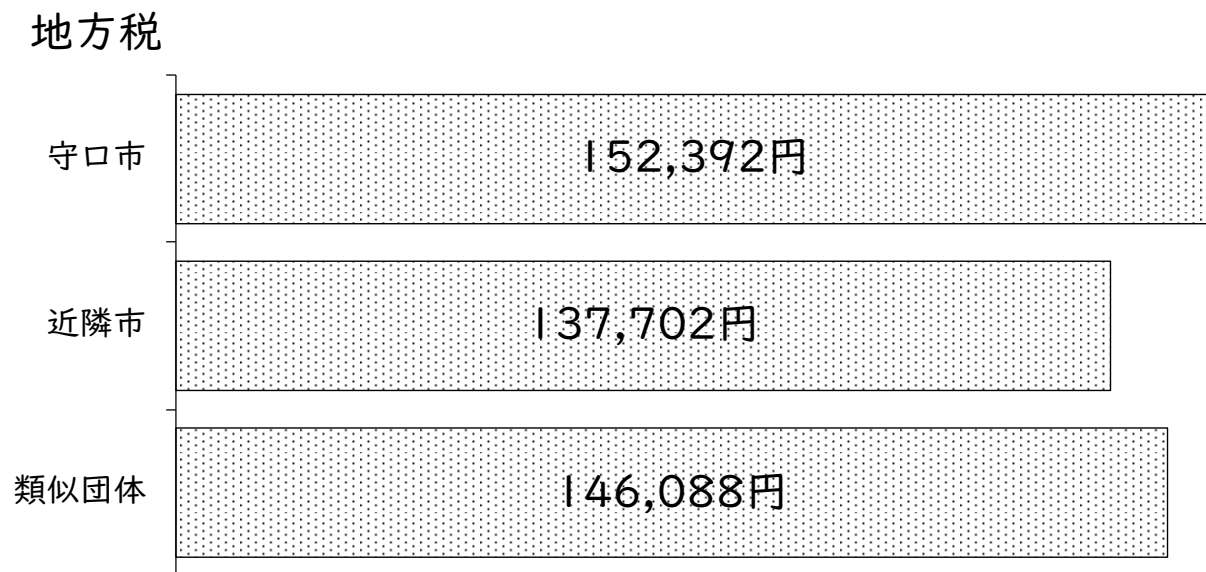
類似団体・近隣市ってどこのこと？

類似団体の例を挙げると、大阪府内では泉佐野市、富田林市、河内長野市、松原市、箕面市などで、大阪府外だと北海道の小樽市、山形県の酒田市、千葉県の成田市、岐阜県が多治見市、三重県の伊勢市、兵庫県の三田市、鳥取県の米子市、大分県の別府市、沖縄県の沖縄市などだよ。

また、この資料では北河内エリアの守口市以外の6市を近隣市と呼んでいるよ（右の図を見てね）。
なお、大東市、門真市も類似団体だよ。



歳入（住民一人当たり） 地方税



※近隣市・類似団体は各団体の平均値

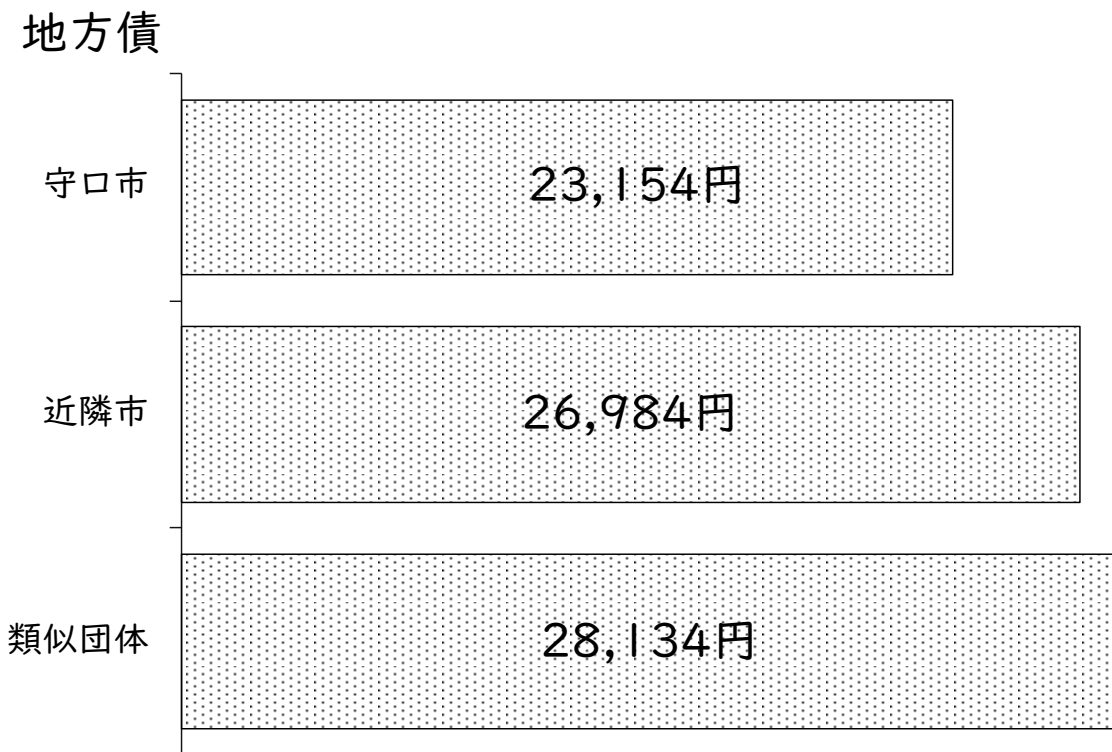
地方税というのは、市民の方に納めてもらう税金のことだよ。市民一人当たり152,392円となっていて、近隣市と類似団体を上回っているよ。

近隣市と類似団体の中に、守口市が課税している事業所税を課税していない団体が含まれていることが主な要因かな。

コールセンターの設置などの取組で徴収率も過去最高の98.1%となったよ。



歳入（住民一人当たり） 地方債



地方債というのは、建物を建てるなど国や銀行等から借りるお金のことだよ。

守口市は、近隣市や類似団体よりも低い傾向にあると言えるけれど、その年度にどんな建物を建設するかなどで、どれくらいお金を借りるのかわ変わってくるんだ。

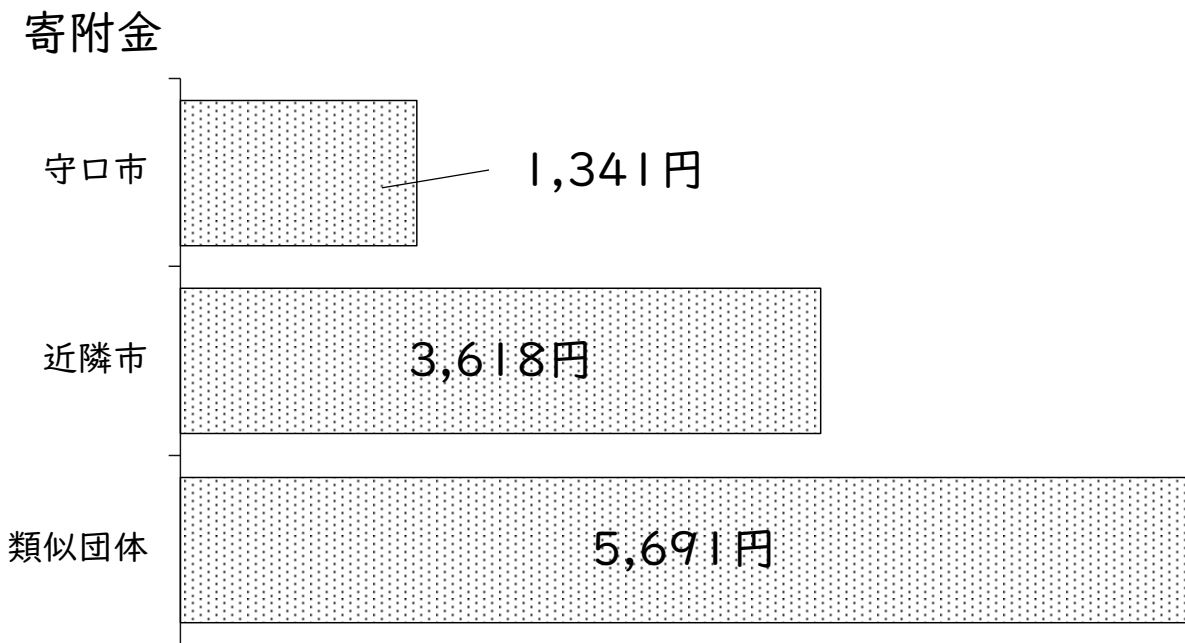
守口市は、国からの将来にわたる財政支援がある有利な地方債の発行や減債基金を活用した地方債の繰上償還※1により、地方債残高の圧縮※2に取り組むなど、将来負担の軽減に努めているよ。

※1 令和3年度に返済期限を繰り上げて約20億円を返済

※2 地方債残高は平成29年度の638億円をピークに令和3年度の590億円まで減少



歳入（住民一人当たり） 寄附金

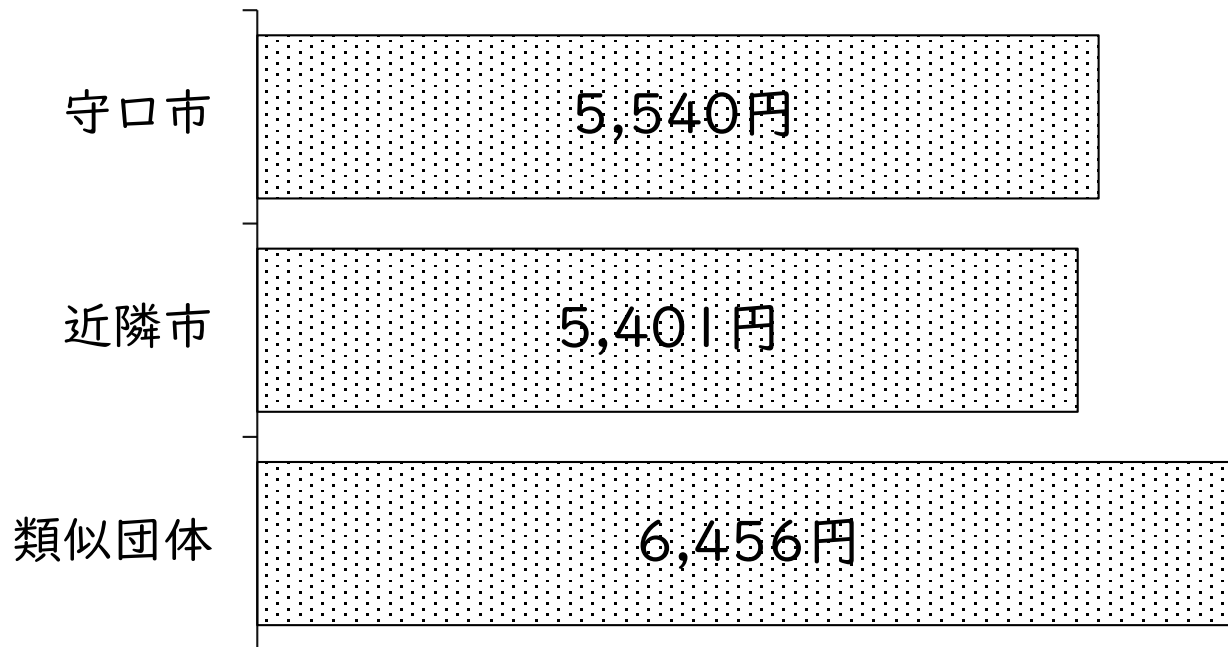


寄附金というのは、ふるさと納税などの皆さんからいただいた寄附のことだよ。
守口市は近隣市や類似団体を下回っているけれど、ももいろクローバーZさんとのコラボグッズやPayPay商品券など魅力あるふるさと納税返礼品や寄附金サイトの充実やに取り組んでおり、その成果もあり、年々、ふるさと納税による寄附金は増加しているよ。



歳入（住民一人当たり） 使用料及び手数料

使用料及び手数料

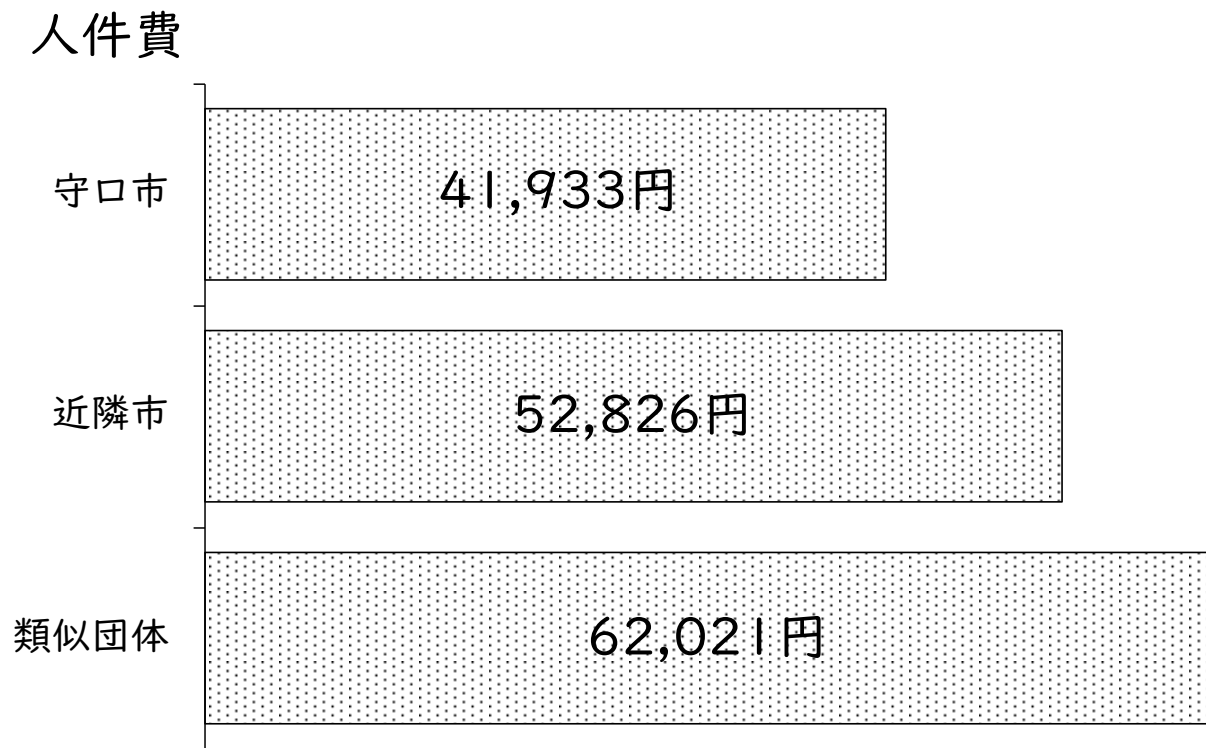


使用料というのは、公共施設などの使用への対価のことで、駐輪場や市営住宅などの利用に対するお金のことだよ。手数料というのは、特定の方のためにする事務への対価のことで、住民票の発行や粗大ごみの収集などに対するお金のことだよ。

守口市は手数料が類似団体平均よりも低いため、使用料及び手数料が類似団体を下回っているよ。

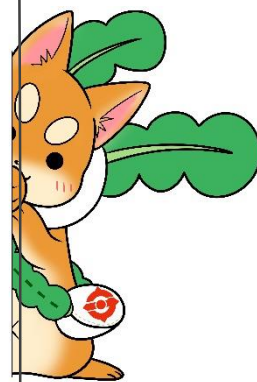


歳出（住民一人当たり） 人件費

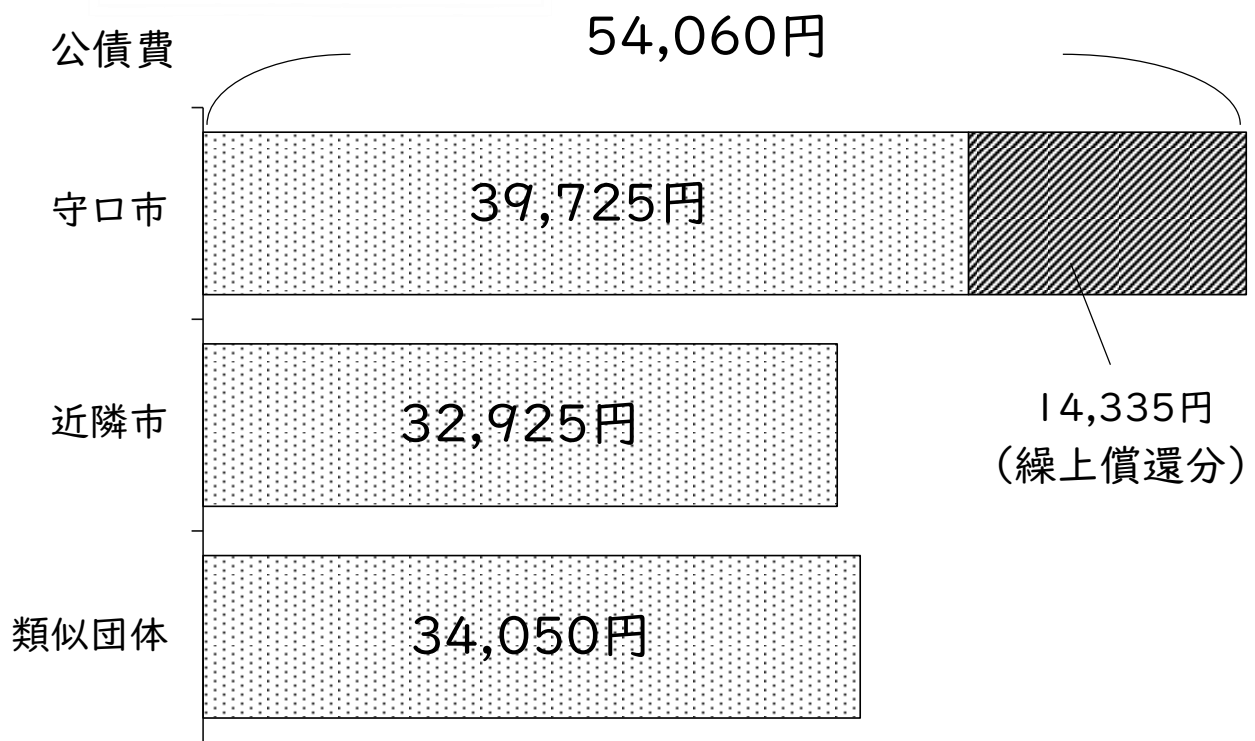


人件費は、守口市役所で働いている職員への給料や手当などのお金だよ。

守口市は、全国トップ水準の少数精鋭組織を目指すため、定員適正化計画を策定して、職員数の見直しに取り組んだ結果、今では住民一人当たりの人件費が、大阪府内はもとより類似団体の中で一番低い金額になっているよ。



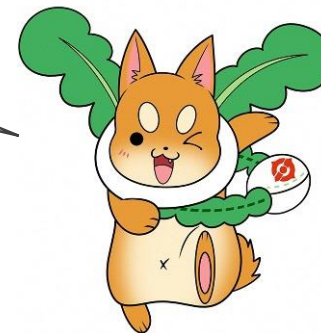
歳出（住民一人当たり） 公債費



公債費とは、市が借りた地方債などを返すためのお金だよ。

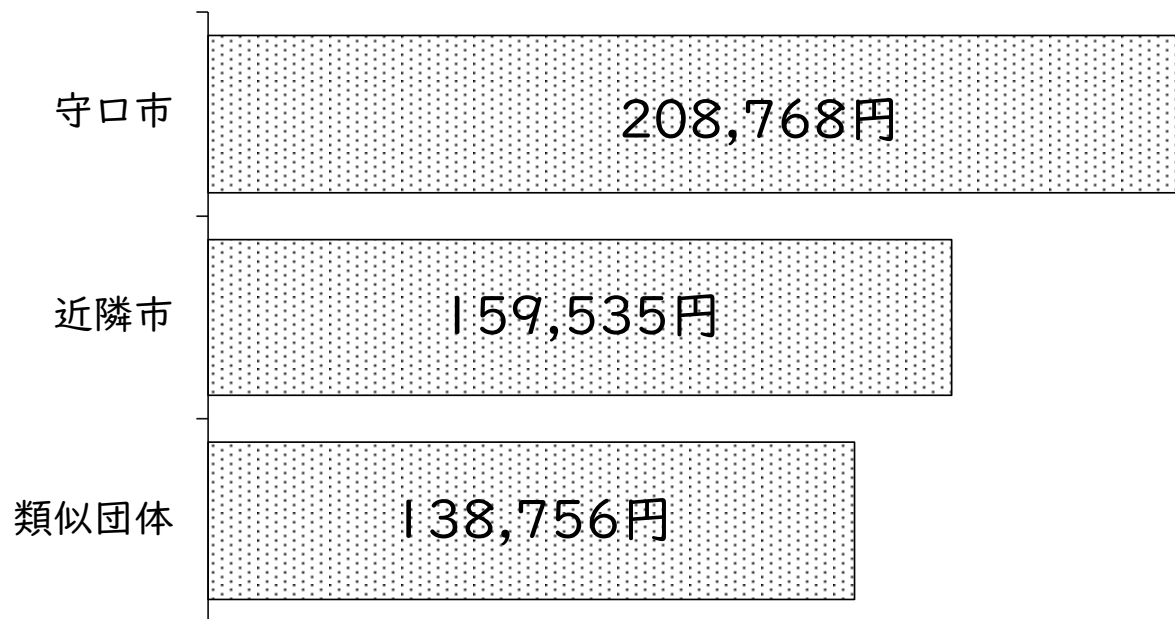
守口市は、減債基金※約20億円を活用して、これまでに借りている地方債の一部について、返済期限を繰り上げて返済（繰上償還）したため、近隣市や類似団体を大きく上回っているよ。

※ 減債基金：地方債を返すための資金を確保し、健全に財政を運営していくため積み立てている基金



歳出（住民一人当たり） 扶助費

扶助費



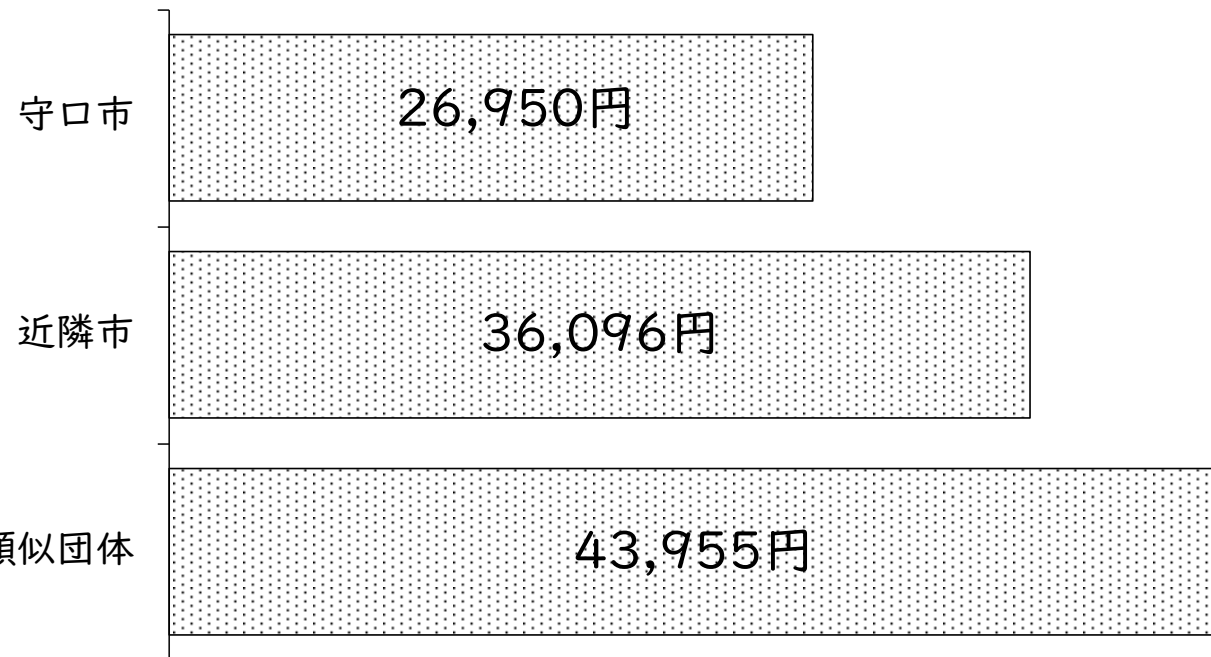
扶助費とは、子どもや障がい者、生活に困っている方などに提供している様々な支援に使うお金のことだよ。高齢化の影響でそういった社会福祉サービスに係るお金が、全国的に増えているんだ。

守口市は、国の幼児教育・保育の無償化に加え、市独自に課税・非課税世帯を問わない完全無償化を実施していることや、生活保護費の規模が大きいため、近隣市や類似団体を上回っているよ。近年は、就労支援などの取組で生活保護費は減少傾向にあるよ。



歳出（住民一人当たり） 普通建設事業

普通建設事業



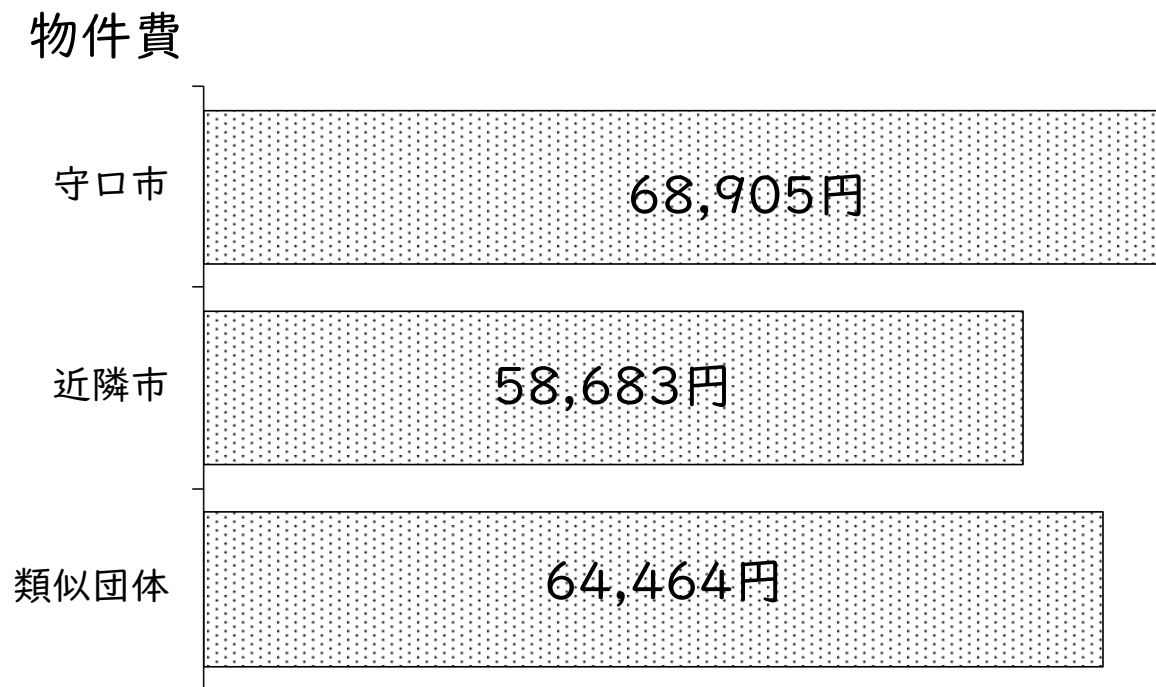
普通建設事業費とは、道路・公園や学校、コミュニティセンター、庁舎などの公共・公用施設の建設や建設用地の購入にかかるお金のことだよ。

その年度にどんな建物を建設するかなどで、どれくらいお金がかかるかわ変わってくるんだ。

令和3年度は、事業規模が大きいものとしてよつば未来公園の建設や旧本庁舎の解体工事を行ったよ。



歳出（住民一人当たり） 物件費



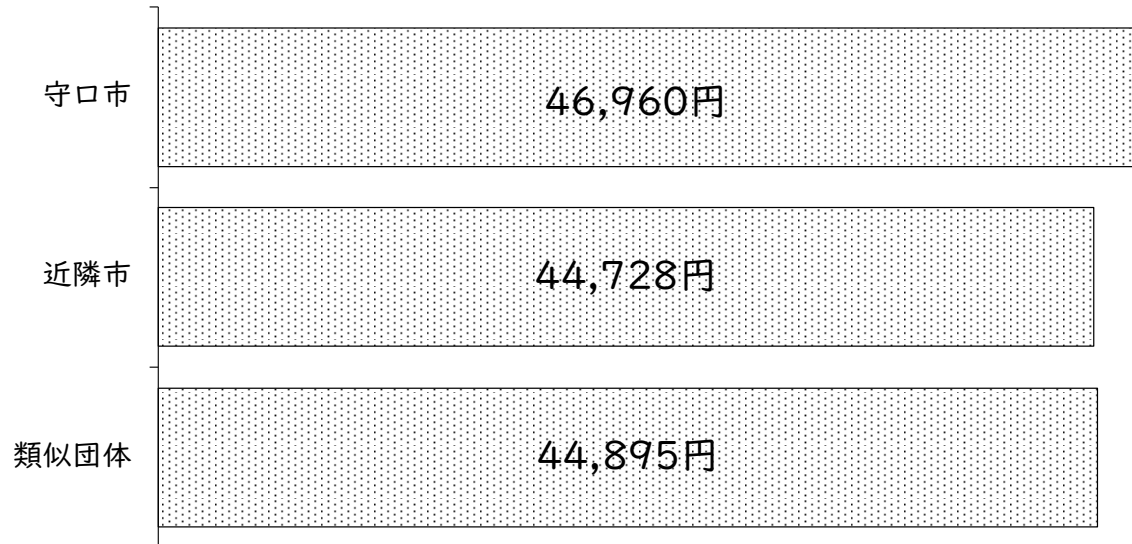
物件費とは、事業者への委託料、電算システム・OA機器のリース料、事務消耗品・備品の購入などにかかるお金のことだよ。

守口市は、よりよい市民サービスの提供と業務の効率化を目指して、民間活力を効果的に活用しており、窓口業務や図書館、体育館などの公共施設の管理運営業務を民間の事業者へ業務委託（指定管理）していることなどから、物件費が近隣市や類似団体を上回っているよ。



歳出（住民一人当たり） 補助費等

補助費等



補助費等とは、各種団体への助成金や他市と協同して事業を行う一部事務組合への負担金などのことだよ。

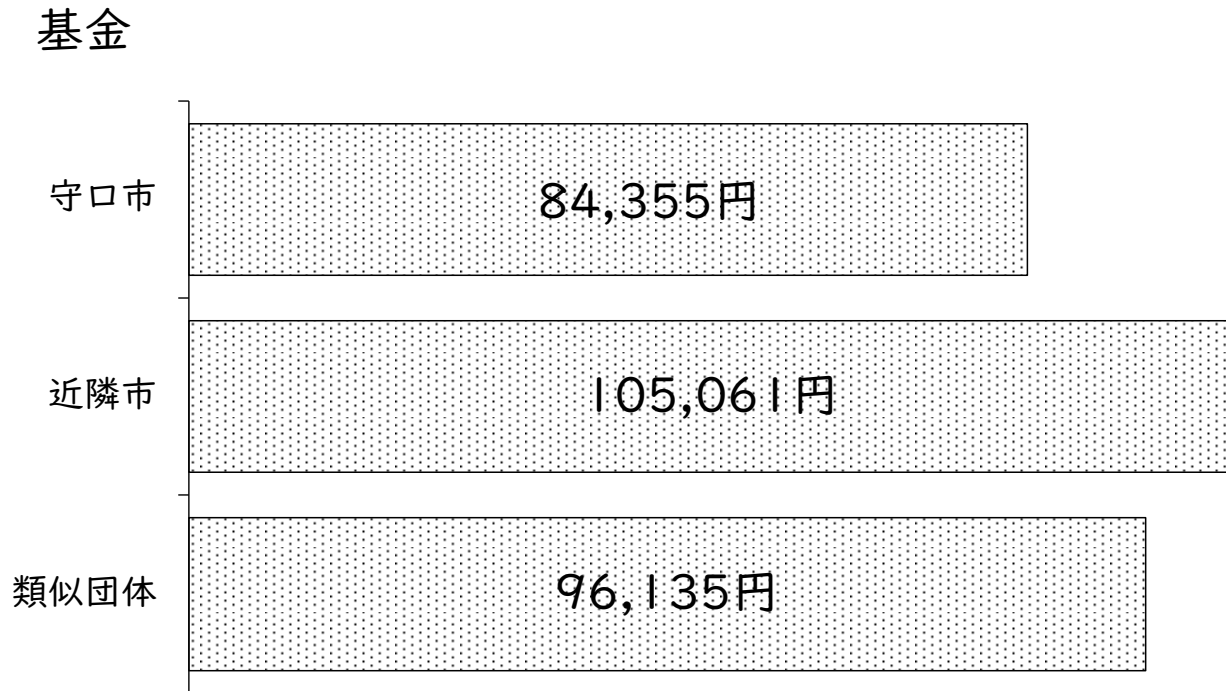
守口市は、消防事業※₁やごみ処理事業※₂を他市と協同で行うなど、広域化を進めていることから近隣市や類似団体を上回っているよ。

※₁ 守口市門真市消防組合（構成市：守口市、門真市）

※₂ 大阪広域環境施設組合（構成市：大阪市、八尾市、松原市、守口市）



令和3年度末基金現在高（住民一人当たり）



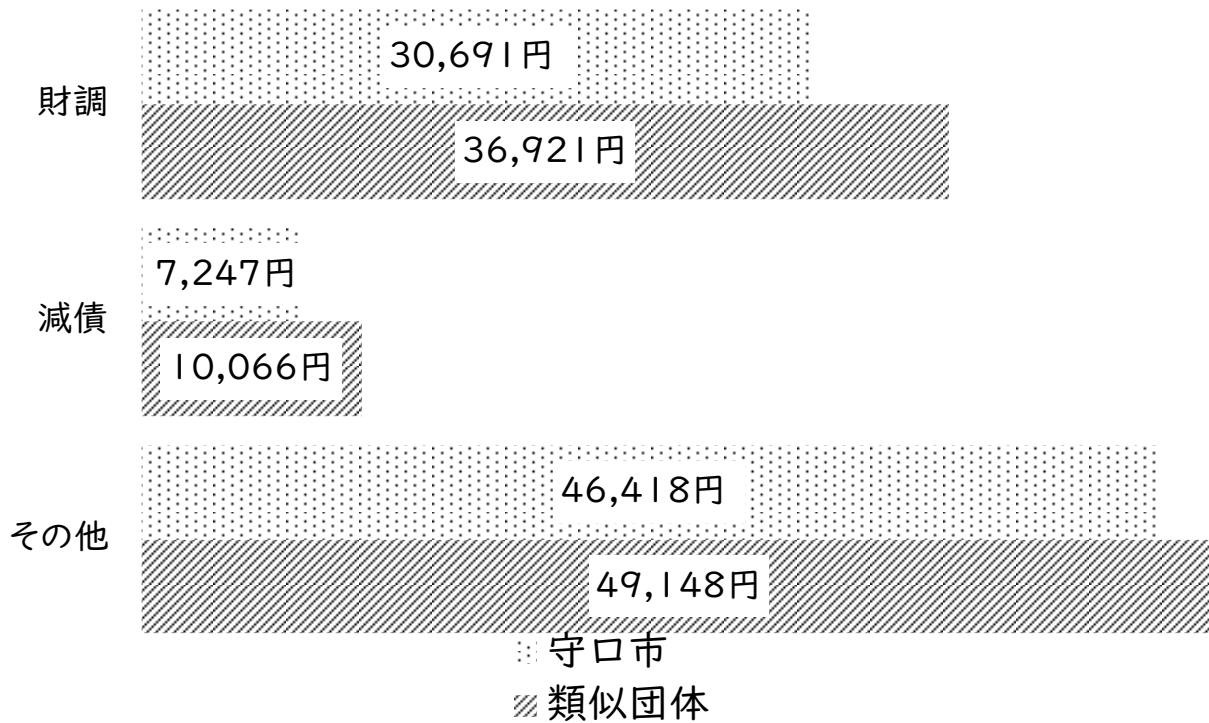
基金とは、市が特定の目的のために積み立てるお金のことだよ。守口市は過去の財政状況の影響で、近隣市や類似団体を下回っているけれど、決算の黒字額を一定財政調整基金※₁や減債基金※₂に積み立てたり、活用していない土地の売払いを公共施設等整備基金※₃に積み立てたりして、着実に基金の積立てを行っており、その総額は120億円にのぼるよ。

- ※₁ 財政調整基金：年度間の財源の調整を図り、健全に財政を運営していくため積み立てている基金
- ※₂ 減債基金：地方債を返すための資金を確保し、健全に財政を運営していくため積み立てている基金
- ※₃ 公共施設等整備基金：公共施設等の整備を図るため積み立てている基金



令和3年度末基金現在高（住民一人当たり）

基金ごと現在高（住民一人当たり）



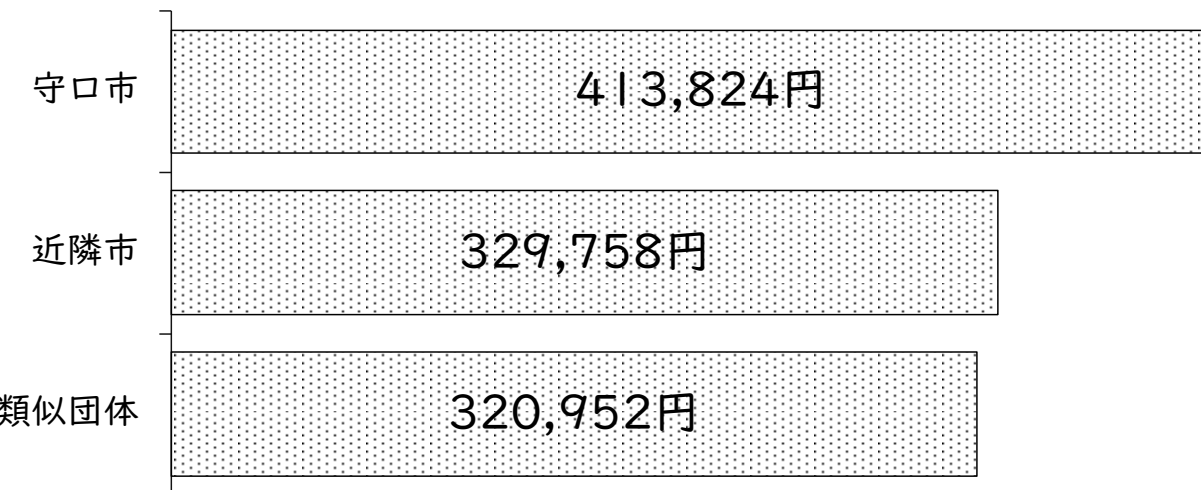
令和3年度末の基金現在高について、主な基金の目的ごとに見てみよう。

いずれの基金についても、類似団体を下回っているけれど、第3次もりぐち改革ビジョン（案）で、財政調整基金は令和7年度末までに50億円積み立てることを目標にするなど、安定的で持続可能な財政運営に向けた行財政改革に取り組んでいるよ。



地方債現在高（住民一人当たり）

地方債現在高



地方債現在高とは、国や銀行等から借りているお金の年度末時点での合計のことだよ。

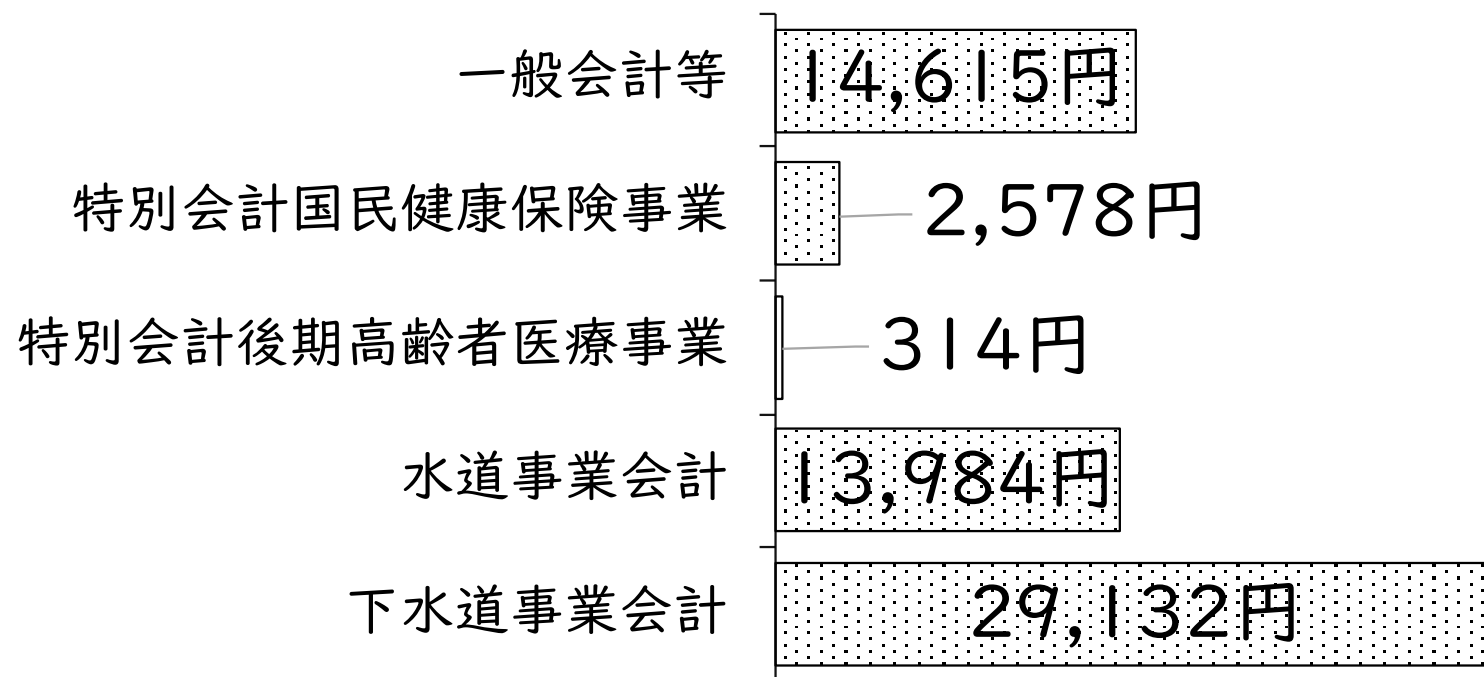
守口市は、教育環境の充実を図るため、新校舎の建設を積極的に進めるなど、過去の建設事業費の規模が大きく、それに伴う地方債を発行したことから、地方債現在高は近隣市や類似団体を上回っているよ。

そのため、減債基金を活用した繰上償還や地方債残高の将来推移を見据え、地方債を発行するなど、地方債現在高の圧縮に取り組んでいるんだ。



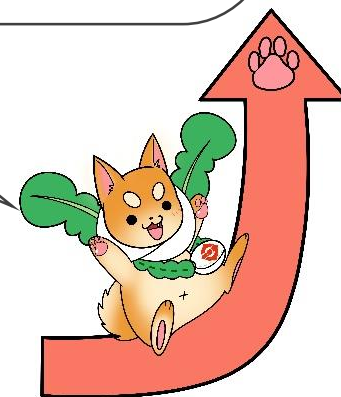
会計ごとの決算

会計ごとの黒字額（住民一人あたり）

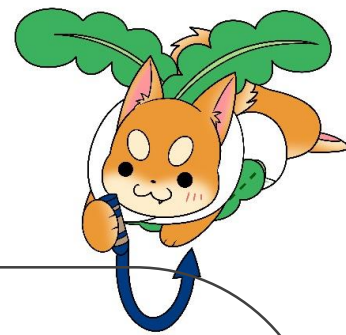


会計とは、特定の事業を運営するために分けたお財布のようなものだよ。

令和3年度も全ての会計で黒字を維持しているよ。
詳しくは次のページを見てね。



会計ごとの決算



一般会計等では、市税収入が予算から大幅な増加となったこと、地方交付税の追加交付を受け、過去最高額の交付決定を受けるなど、歳入全般について堅調に推移したことなどにより黒字額が増加しているよ。また、平成21年度以降、13年連続で黒字を確保しているんだ。

特別会計国民健康保険事業では、平成25年度以降、9年連続で黒字を確保するとともに、黒字を元手に健全な財政運営に資するための国民健康保険財政調整基金に積み立てたよ。

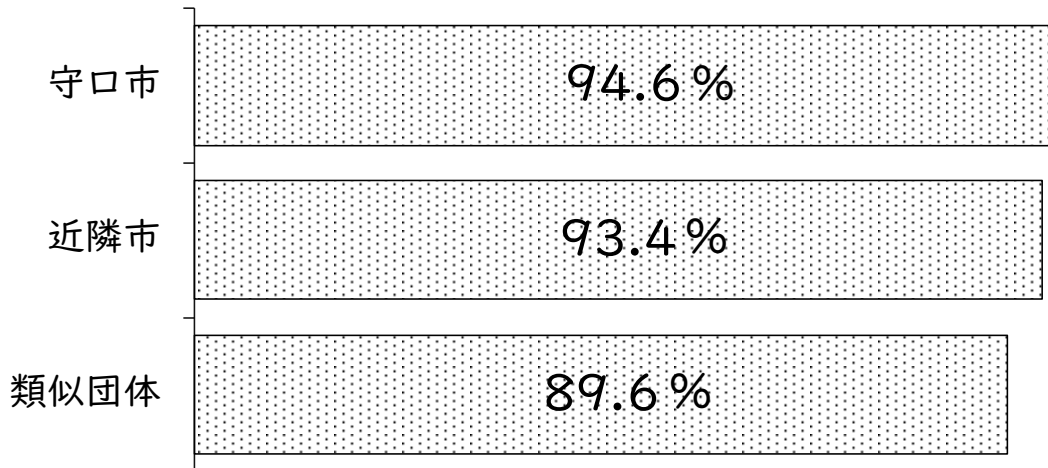
特別会計後期高齢者医療保険事業では、実質収支は黒字となっているけれど、黒字の一部を大阪府後期高齢者医療広域連合に納めていることから、実質的には収入と支出は釣り合っているよ。

水道事業会計では、水道料金等の収益が減少となったけれど、鉛給水管にかかる工事請負費等の費用が減少したことで、支出が収入以上に減少して黒字額が増加したよ。

下水道事業会計では、雨水処理負担金や他会計補助金等の収益が減少し、収益全体では減少となったけれど、下水管やポンプ場の維持管理にかかる費用が減少したことで、支出が収益以上に減少したことから黒字額が増加したよ。

財政に関する指標

経常収支比率



経常収支比率とは、財政構造の弾力性を表す指標だよ。経常収支比率が高いと、使えるお金（財源）に余裕がないということなんだ。

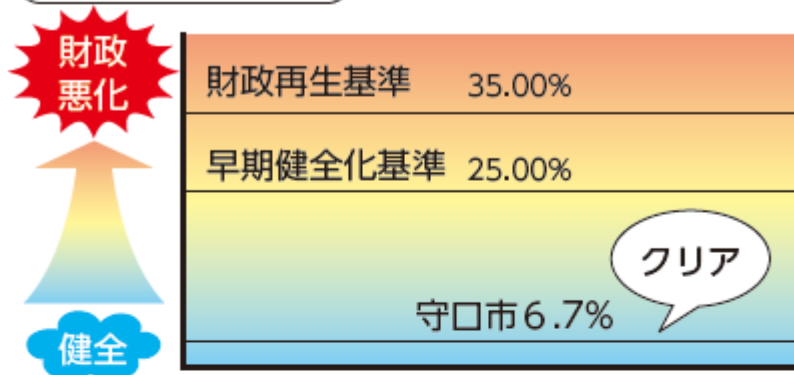
これまで見てきたように、守口市は人件費は類似団体中最も低いけれど、扶助費と公債費が相対的に高額なため、経常収支比率は近隣市や類似団体を上回っているんだ。このことから近年、生活保護の適正化や地方債の繰上償還を進め、義務的経費の割合は5年連続で減少しているよ。

一方で今後も少子高齢化の進展に伴い、子育て支援や社会福祉サービスにかかるお金は、増加していくことが予想されるよ。

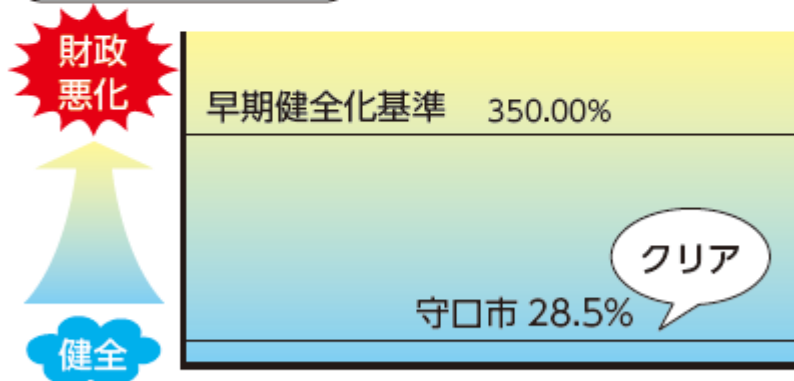


財政に関する指標

実質公債費比率



将来負担比率



▽実質赤字額、連結実質赤字額がないため、実質赤字比率、連結実質赤字比率はありません。

▽企業会計(水道事業会計・下水道事業会計)の資金不足額はないため、資金不足比率はありません。

出典: 広報もりぐち 令和4年10月号

健全化判断比率とは、財政が悪化していないかチェックするための法律で定められた指標だよ。
次の4つの指標があるけれど、守口市はどれも基準を大きくクリアしているよ。

実質赤字比率：一般会計等の赤字の度合いを表す指標

連結実質赤字比率：全ての会計を合わせた赤字の度合いを表す指標

実質公債費比率：地方債の返済額の規模によって資金繰りの状況を表す指標

将来負担比率：将来の財政がどれくらい圧迫されるかを表す指標



今後の課題

これまでに見てきたように、守口市の財政は人件費以外の義務的経費が高額となっているため、経常収支比率が高い状況にあるんだ。

今後も、少子高齢化の進展などにより、社会福祉サービスにかかるお金が増えていくことや市民ニーズの多様化・高度化が予想されるため、全国でもトップ水準の少数精鋭組織となっている職員体制の一層のスリム化を図り、効率的な体制を構築するとともに、就労支援、医療扶助の適正化による生活保護費の抑制、守口市公共施設等総合管理計画による施設の最適化・長寿命化、地方債に大きく頼ることのない財政運営に努めるなどの行財政改革が必要なんだ。

